

国語【看護学部】

(2月3日)

開始時刻 午後1時00分
終了時刻 午後2時00分

※ 数学の問題は、本冊子の左開きのページにあります。

注意事項

- 1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この冊子は23ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明及び解答用紙の汚れなどがあつた場合には申し出て下さい。
3. 国語が数学のどちらか1科目を選択し、該当する解答用紙を切り離して解答してください。2科目とも解答した場合は、すべて無効となります。
数学 1～6ページ
国語 1～17ページ
4. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。
① 受験番号欄
受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
② 氏名欄
氏名とフリガナを記入してください。
5. 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、10と表示のある問いに対して◎と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の◎にマークしてください。
(例)
10 (a) (b) (c) (d) (e)
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

創価大学 全学統一入試 国語(看)

一

次の文章を読んで、後の問1～18に答えなさい。

もしも、生まれたときから他者に会うことがないという特殊な境遇にあれば、友達というものを感ぜぬだろう。と想像してみよう。
おそらく、生まれてからずっと一人で育った人間は、(家族はいるかもしれないが)友達というものを感ぜぬ経験がないのだから、それがいない状況が寂しいとは思わないはずである。
しかし、それは文字どおりの「憧れ」であり、単にその情報の中で、それが素晴らしいものだと語られているのを聞き流しているだけだ。対比して、自分の境遇を眺めるまでにはなかなか至らないのではない。それはたとえば、子供のときに「月面旅行」の絵本を読むようなもので、今の自分が月面に立てないからといって寂しくなるわけではない。自分も月面に立てたら素晴らしい、と将来の夢を持つだけである。つまり、友達ができた良いな、楽しそうだな、という希望を持つことはあっても、現在それが自分にはないからといって孤独を感じたり、寂しく思ったりはしない、と僕は思う。
②
それは家族であつても同じことで、生まれたときから父親がいない、という場合であつても、それはど寂しさは感ぜぬのではないかと、思える(周りのみんなが「寂しいね」と無理に教えることで、寂しさを感じることあるだろう)。

ただ、母親だけは少し違うように感じる。人間にも本能があるからで、「なにが母親のような存在に甘えたい」という自然の欲求を持っているはずである。これは、人間以外の動物にも観察されるもので、初めて見たものを母親だと思ひ込むとか、幼いときにはどんな動物でも基本的に友好的であり、また、見た目も可愛らしく見えるようにしてきている(これは、X、の意味を含む。母性本能という言葉があるとお

りだし、逆に、母親を求める本能(命名されているのだろうか)もあるはずである。ほ乳類であれば、母親から乳をもらうわけだから、生きるために必要な本能に違いない。もし母を見失えば、それは「寂しい」とか「悲しい」ところではなく、自分の死に直結する「恐怖」になるはずだ。こうして、少し考えてみると、孤独や寂しさを感じるには、ただ仲間がいない、というだけの状況かだけではなく、それ以前に、仲間の温もりと、友達が交わる楽しさ、というのを知覚していることが前提条件となつていくようだ。もう少しわかりやすくいうと、孤独が表れるのは、Y、なのである。

友達がいない寂しい、というのは、友達と過ごすことの楽しさを知つていて、それができなくなった場合に生じる感情だ、ということ。寂しさを

一

いうものが、そもそもそういった変化(陥落)を示したものだともいえるかもしれない。ただし、本能的なものは除外する必要がある。たとえば、乳飲み子が泣くのは、寂しさで解りやすくはないが、それは今話している孤独とは、歴然と異なるのだと区別して良いだろう。

③
では、仲間を失うことが、何故寂しいのか?

仲間から奪われることが、生存の危機を意味しているために、寂しさというマイナスの感情として知覚されるのか。もしそれが基本としてあるならば、やはり、群れを作るといふ本能的なものに根ざしているだろう。しかし、現代では、一人になることが即生存の危機というケースはほとんどない。周囲の人間から見捨てられても、子供でないかぎり、充分とはいえないまでも生きていくことができる社会が実現している。ただし、生存への危機感が寂しさの感情をジョウチョウするといふ効果は馬鹿にならないかもしれない。ようするに、自身の勝手な想像であつても、それが自分を苦しめるということはある。子供が仲間から奪めを受けた場合などは、生存の危機のようなものを本能的に感ぜぬ可能性があるが、大人になつても、そういった体験に基づいた感情が残つていようにも思えるからである。
④
さらに言えば、まず友達があつて、それを失つたときに感ぜぬものだと、定義を限定しようとして、これに当てはまらない例があることに気づく。

友達が全然知らなければ、孤独は感ぜぬ、に近いことを書いたし、本やTVで見たものは憧れにしかならない、とも書いたが、たとえば想像の経験であつても、自分の身近な同年代の他者たちの行動になると、感情移入によつてリアルさがリアルに増している。TVドラマなどをリアルな世界として真に受ける子供もいるかもしれない。つまり、経験のリアルさは、個人によつて非常にリアルに異なる可能性がある。ということだ。

自分が妄想をして、なんとなく友達になれそうだと、いう状況を想像経験することもあつてはいるが、相手には全然なくとも、一方的に友達だと思ひ込んでしまうことは、子供には珍しくない、特殊なことでもない。だから、そういった想像の認識が、本人にとつて現実に近いものに知覚される可能性は大いにある。そうだとしたら、それらも含めなければならぬ。

いづれにしても、寂しいという感情は、「失つた」という無念のことだ。また、その失つたものが、「親しさ」であれば、それがすなわち「孤独」になる。

失うことが寂しいのも、そのルーツは生存の危機だろう。⑤
ただ、自分のもの、自分の時間などが、失われたときの喪失感というのは、寂しさや悲しさの主因となる。これは、取り返しが比較的簡単なものほどダメージが小さく、逆に、もう二度と取り返せないとかわかつている場合は、精神的にも大きなショックウケとなる。

(森田編「孤独の価値」による)

問一 傍線部ア～ウを漢字表記に改めた場合、これと同じ漢字を用いるものを、次の各群の①～④からそれぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが1、イが2、ウが3。

- ア ジョウチョウウ
a チョウカ料金は払わない
b 胃腸のチヨウシが悪い
c チョウヘン小説を評破する
d 話がチヨウフクしている
イ カクダン
a 国交をダンゼツする
b ダンガイ裁判にける
c ダンガイの世代に生まれる
d 文豪をダンラクに分ける
ウ ショウゲキ
a こは海上交通のヨウショウだ
b 橋は平和のショウチョウだ
c ショウタイ客が集まり始める
d 下取りの値段をコウショウする
e 三月はカンダンの差が激しい

- 問二 傍線部A～Cの場合、孤独というものを感ぜぬだろうか」とあるが、この問いに対する筆者の考え方として最も適切なもの、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は4。
- a 友達を持つことに憧れを抱くことはあつても、孤独を感じることはない。
- b 友達を持つことに憧れを抱くことになれば、孤独を感じるようになる。
- c 孤独という言葉の意味を知ることができれば、それを感ぜぬことができる。
- d 孤独という言葉を知つたとしても、その意味を理解することができない。

一

問三 傍線部B「今の自分が月面に立てないからといって」とあるが、「月面に立てない」とはどのようなことをたとえているのか。その説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 5。

- a 家族が目の前に黙然と存在すること。
- b ずっと一人であることに慣れていること。
- c 自分に友達というものがいないこと。
- d 友達がいなくて寂しいことを知らないこと。
- e 寂しさを感じないで生きていること。

問四 本文中には次の文が脱落している。この文が入る箇所として最も適切なものを、後の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 6。

- しかし、もともとまで遡^{さかのぼ}って考える人は今はいない。
- a 1
 - b 2
 - c 3
 - d 4
 - e 5

問五 空欄 X に入る表現として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 7。

- a 見た目が可愛くなくとも可愛く見せる
- b 見た目が可愛いと捉える感覚を持つている
- c 見た目が可愛くても本当はそうではない
- d 見た目が可愛いのは幼い時期に限られる
- e 見た目が可愛いのは人間だけに限らない

問六 空欄 Y に入る表現として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 8。

- a 友達がいな状態からの陥落
- b 交友の欠如した状態への陥落
- c 孤独ではない状態への陥落
- d 孤独ではない状態からの陥落
- e 前提条件のない状態への陥落

問七 傍線部C「生まれたばかりの赤子が、乳飲しさに泣くのは、寂しさを解^とけできなくもないが、それは今話している孤独とは、歴然と異なるものだと区別して良いだろう」とあるが、どういうことか。その説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 9。

- a 生まれたばかりの赤子には友達とは何かという知識があるはずなので、ここで問題にしている孤独を感じようがないということ。
- b 生まれたばかりの赤子は母親さえいれば寂しさを感じることはないので、たとえ友達がいなくても孤独を感じるとはならないということ。
- c 生まれたばかりの赤子が泣くのは母親のそばであって、友達を求めて泣いてはいるわけではないので、孤独であるとは言えないということ。
- d 生まれたばかりの赤子が泣くのは本能的なものであって、楽しさから陥落したわけではないので、それを孤独と呼べないということ。
- e 生まれたばかりの赤子は寂しさがどういふものか理解できないので、大人のように孤独を感じることなどはしれないということ。

問八 傍線部D「Hの中の「ない」のうち、助動詞の「ない」を含むもののみの組み合わせを、後の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 10。

- D 充分とはいえないまでも
- E これに当てはまらない例がある
- F 孤独は感じない
- G 子供には珍しくない
- H もう二度と取り返せない

- a D・H
- b D・E・H
- c D・E・G・H
- d D・E・F・H
- e D・E・F・G・H

二 次の文章を読んで、後の問一～六に答えなさい。

人間どうしの関係と同じく、生物どうしにも多様な関係が見られる。それはドラマのように、その生物の好みや都合、脇役となる他の生物との利害関係によって、複雑に、そして、ダイナミックに展開していく。

学校で、アリとアブラムシの共生関係の話を知った人も多いと思う。アブラムシは植物の汁を吸い、お尻から甘い甘露を出す。アリはその甘露をもらう代わりにアブラムシを外敵から守り、ギブ・アンド・テイクの共生関係が成り立っているという話だ。

アブラムシが吸っている植物の汁には、アミノ酸などのほかの栄養素に比べ圧倒的に糖分が多い。アブラムシにも必要な栄養のバランスというものがあるので、摂りすぎた糖分は排泄物「甘露」としてほとんど捨ててしまう。それをアリは、馳走^{ちしう}になっっている。アリは甘いものが好きで、おまけに自分たちの餌場に入ってくるものを排除する性質がある。当然、アブラムシの天敵も排除してくれるので、アブラムシにとってアリは頼れる用心棒となる。同じように植物のなかにも、花以外からも甘い蜜を出してアリを呼び、自分を加害する害虫から守ってもらうものがある。たとえば、ソラマメやカラスノエンドウ。カラスノエンドウは、春によく見るマメ科の雑草で、豆の鞘^{かぶ}を削^くり取って遊んだ人も多いことだろう。これらの植物は、よく見ると葉の脇に花蜜腺^{はちみつせん}という蜜を出す器官を持っていて、アリを呼んで、害虫を排除してもらっている。

しかし、同じようにアリとの共生関係を持つとしても、植物の汁を吸うアブラムシと、植物は敵どうしである。とくに小さな草本の植物は、多くのアブラムシにとりつかれて汁を吸われると、すぐ枯れてしまう。蜜を出す植物に甘露を出すアブラムシがついた場合、本来は敵どうしの両者が同じようにアリを呼んで自分を守ってもらうと、どうなるだろう。それぞれが甘い汁で呼び寄せたアリは、アブラムシを排除して植物を守るのだろうか。 1、アリはアブラムシを守り、アブラムシは増え続け、植物は枯れてしまうのだろうか。どちらに転ぶかは、植物とアブラムシにとっては重大な問題である。

その結果を考えると、まずアリの生態を知っておく必要がある。アリにも好みがあるし、必要な餌の量もある。アリとしては、できるだけよい餌をコロリつに摂りたいところだ。どうせ守るなら、蜜は好みにあつたほうがいいし、量もじゅうぶん提供してくれる蜜源がいい。

だから、同じ場所に複数の蜜源があれば、アリは使い勝手のいい好む蜜源を選んで、他の蜜源は利用しなくなる。 2、利用しないアブラムシは、逆に、排除したり、殺して食べてしまったりする。アリには糖分のほかに動物性の蛋白質^{たんぱくたん}も必要なので、アブラムシを巣に運んで幼虫にやると、よい餌になるわけだ。このように、アリは、自分たちの都合に合わせて一番いい餌を守り、それ以外のものを排除する。

まう。アブラムシの甘露が好まれた場合、アリはアブラムシを守り、アブラムシは増え続けて、植物は枯れてしまわう。逆に、植物の出す蜜のほうに魅力的だったら、アリは植物を守り、アブラムシを排除するであろう。そうなれば、植物は元気に育つ。

どちらに転がかは、アリに対する魅力次第だから、植物とそれにつくアブラムシは、人知れずアリの共生をめぐって熾烈に競争しているのである。さらに、同じ植物に、違う種類のアブラムシがいる場合には、アリは、植物の蜜かアブラムシの甘露かを比べ、どちらかのアブラムシを選ぶ。アブラムシどうしにも、アリとの共生をめぐる競争があるのだ。

同じ植物につくアブラムシでも、種類が違えば、排泄する甘露の成分も異なる。そのため、アリとの関係にも違いが出る。Ⅲ、ソラマメにつくアブラムシでは、黒い小さなマメアブラムシは、ソラマメの花外蜜腺よりも魅力的な甘露を出し、アリの恩恵を受ける。逆に、大きな緑色のソラマメヒゲナガアブラムシの甘露は、ソラマメの蜜に比べて魅力がないうえ、ソラマメに由来するアリの汁を殺してしまふ。このアブラムシが生きて残るためには、ソラマメやマメアブラムシが魅力的な蜜でアリを誘引するのに対抗して、何らかの方法でアリから身を守る工夫が必要になる。

実際に、アブラムシのなかでアリと共生関係を持つ種類は、むしろ少数派で、種数にして全体の四分の一ほどである。それ以外は、甘い甘露を排泄するのにもかわらず、アリとの共生関係は持たない。むしろ、アリとの関係を積極的に避けようとするものも多い。自分の周りにアリが寄ってこないように、なるべくまずい甘露を出したり、甘露を速くに飛ばしたり、角状管^{カクジョウカン}という尾部背面にある突起からアリの嫌がる汁を出したりと、さまざまな工夫でアリを遠ざけている。

多くの生物が共存するなかで、競争と共生はⅣ X である。一つの争いは、共生へのきつかけとなる。アリがアブラムシを天敵から守るといふ共生は、アブラムシと天敵の争いがあるからこそその共生である。この共生は、アブラムシとアブラムシを食べる天敵との軍拡競争の中で生まれたい一つのドウマイなのだ。

そして、一つの共生は、また新たな争いの種をまくことになる。アリはアリどうしでお互い餌を出すアブラムシをめぐって競争する。また、蜜を出す植物やアブラムシたちの間には、アリを誘い守つてもうための競争が起こる。そんな競争の中で、アリと共生するだけが、アブラムシの生き方ではなくなる。

アブラムシには不要な甘露をアリが欲しがり、アリはアブラムシを守ることができる。これは、共生のためにはむしろ都合に見え、Ⅳ、手放して幸せな共生関係はなかなか成り立たないものだ。

しかし、皆が同じ基準で、共生に向けてしゃやむに競争している社会も、決していいものではないかもしれない。競争に勝たなければアリに殺されてしまうのなら、そんな競争にワズラわされるより、いつその甘い甘露は速くに捨ててしまふのもいいだろう。なにも両刃の剣のような危ないアリと無理につきあわなくても、アリとは関わらずに暮らすのも、また一計である。

人間の関係と同じように、生物どうしの関係も、目の前の相手だけでなく、背後にある事情や、周囲の状況に左右される。なんとも複雑である。しかし、一筋縄ではいかない状況だからこそ、画一的な基準での競争に縛られない多様な生き方が、成り立つのだともいえる。共生をめぐって競争するのもよし、別の生き方を採るのもまたよし。そんな進化の過程の自由さが、多様な生物どうしのダイナミックな関係を形づくっている。

(坂田宏志「共生と競争のジレンマ」による)

問一 傍線部ア～ウを漢字表記に改めた場合、これと同じ漢字を用いるものを、次の各群の①～④からそれぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが 11、イが 12、ウが 13。

- | | |
|--|--|
| ア コウリツ
コウキョウの施設に入る
ネンコウ序列で決める
コウミンコウな手口でだます
映画はコウビョウを博した
葉のコウカを期待する | ① コウキョウの施設に入る
② ネンコウ序列で決める
③ コウミンコウな手口でだます
④ 映画はコウビョウを博した
⑤ 葉のコウカを期待する |
| ウ ワズラわされる
ホンノウを絶つて悟りを開く
現場に資材をバンニユウする | ① 子孫がハンエイする
② ホンノウを絶つて悟りを開く
③ 適切なハンダンが下された
④ ホンノウを絶つて悟りを開く
⑤ 現場に資材をバンニユウする |

問二 傍線部A「ギブ・アンド・テイクの共生関係」とあるが、本文で挙げられている共生関係の事例の説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 14。

- ① ソラマメヒゲナガアブラムシは、アリの好みの甘露を出すことでアリから守られている。
- ② マメアブラムシの甘露はアリの幼虫の栄養になり、アリの種の保存のために役立つ。
- ③ カラスノエンドウは甘い蜜を出すことで、マメアブラムシに必要な栄養を供給している。
- ④ マメアブラムシは魅力的な甘露を導くことにより、アリに害虫から守ってもらっている。
- ⑤ ソラマメヒゲナガアブラムシはアリの嫌がる汁を出してアリからソラマメを守っている。

問三 空欄 I Ⅲ Ⅳ に入る言葉として最も適切なものを、次の①～④からそれぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。(ただし、同じものを二度以上選ばないこと。) 解答番号は I が 15、Ⅱが 16、Ⅲが 17、Ⅳが 18。

- ① それでも
- ② それどころか
- ③ それとも
- ④ なせならば
- ⑤ たとえば

問四 空欄 X Ⅲ Ⅳ に入る表現として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 19。

- ① 水と油
- ② 差泥の差
- ③ 二律背反
- ④ 紙一重
- ⑤ 矛盾

問五 傍線部B「両刃の剣」のような危ない「アリ」とあるが、具体的にはどのようなことか。その説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 20。

- ① アリは好みの蜜を出す植物と共生する生物に危害を加えるとともに、その植物を枯らしてしまうこと。
- ② アリは自分たちの身を守るだけでなく、共生関係にある生物を守るために天敵を攻撃すること。
- ③ アリが好む蜜や甘露を出す生物はアリによって殺されるが、そうでない場合は排除されてしまうこと。
- ④ アリに天敵から守ってもらおう共生関係を築くには、アブラムシ同士で競争をしなければならぬこと。
- ⑤ アリと共生するには激しい競争に勝つ必要があり、それは生命が危険にさらされる宿命を負うこと。

問六 本文の内容と合致しているものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 21。

- ① 他の動物との共生や競争という生物同士の関係は大変複雑なものであり、生物の進化の過程でその関係はダイナミックに展開していく。
- ② アリとの共生をめぐる競争は、植物とアブラムシとの競争以外では、アリとアブラムシの間と、アブラムシどうしにだけ起こっている。
- ③ アブラムシにとってはアリと共生するよりはかに生き方がないので、アブラムシたちの間にアリに守ってもらうための競争が起きてしまふ。
- ④ 共生に向けてしゃやむに競争するよりは、共生をあきらめて競争をやめてしまふ方が、生物としてははるかに望ましい生き方である。
- ⑤ 生物どうしの関係は、人間の関係とは違って、目の前の相手に左右されるだけでなく、背後にある事情や、周囲の状況にも左右される。

三 次の文章を読んで、後の問一～六に答えなさい。

一九八一年の秋、私はユーゴスラビア北西部を旅した。リュブリャナという、河畔の町を訪れた。観光地としては、ほんとうに美しい町だが、居心地は良いとはいえなかった。第一、ホテルのサービスがひどい。外国人観光客は、政府の斡旋するホテルにしか泊まらない。自由競争がないからだ。接客業としての自覚がないのだ。部屋の湯が出ない、と苦情をいったら、従業員は夕方になって皆、帰ったので、明日までどうしようもない、といわれたりした。

町のレストランやカフェで働いている人々も、いたって無愛想だ。ひょっとして、この国の人たちは X、と勘繰ったものだ。

数日、タイサイしたが、ちっともユーゴスラビアの人たちと触れ合った気もしないまま、私は帰途についた。当時暮らしていたイタリアに向けて、国際列車に乗ったのである。

ユーロッパの列車は、コンパクトメントという個室で仕切られている。国際列車ともなると、国籍も違う旅の目的も違う者同士、同じコンパクトメントに乗り合わせることになる。

その時、相席したのは、やはり旅行中の大学生二人、それに太った中年紳士と、三十歳前後の小柄な男性だった。

ドイツから来たという学生二人とは同じ学生同士、すくなく気が合って、どこの国がよかったか、どの都市にはもう行ったか、などと旅行談議に花が咲いた。時に中年紳士も会話に口を挟み、私たちは和気あいあいと話が続いた。

ただ、窓際に座った小柄な男は、ジャンパーの襟を立てて流れ去る景色をじっと見つめているだけで、会話には加わらない。英語ができないのだから、と私は気にもしなかった。

列車がユーゴスラビアを出る前に、ドイツ人学生も中年紳士も降りていった。手持ち無沙汰になった私は窓際に席をすらせ、小柄な男と向かい合う形となった。

列車はイタリアとの国境に向かって走りだした。窓の外は、秋色のキエウリョウ地帯が広がっている。

「あなたたちは幸せだね」

突然、正面の男が訥々とした強い英語でいった。

A 私は驚いて、その男を見た。髭剃り跡が削げた頬に残っている。黒みがかった瞳は東欧系の人間を思わせた。

男は、誰かに聞かれるのを怖がるように、素早く廊下に目を逸らした。

「この世界には、観光旅行もできないで、明日、死ぬかもしれないと脅えながら、必死で生きている人間もいるんだ」

彼は暗い口ぶりという、腰を浮かせた。荷物ひとつ持たずに来た。

列車はイタリアとの国境近くの寂しい駅に止まろうとしている。立ち去りかけた男に、あなたはどの国の人ですか、と聞いた。

アルバニア、と答えると、彼は何かに追いついたとされるように廊下に消えた。

男の正体はわからない。反政府活動をしていたアルバニア人もかもしれない。それともユーゴスラビアのアルバニア人で、何かの政治活動に携わっていたのかもしれない。国境の前で消えたのは、パスポートを持ってなかったか、密出国しようとしたせいではないか。そこまで Y ではないにしても、何かしらの国の重圧の下で生きている人間だった可能性が高い。呑気に観光談議に興じていた私たちの話を、どんな思いで聞いていたことだろうか。

あれから十三年が過ぎた今、ユーゴスラビアは民族闘争の戦火に喘いでいる。彼がそこにかかわっているかどうか知る術もない。

だが、現在の平和な日本にいて、世界各地の戦争の話をする時、あの男の顔が頭に浮かぶ。

そして私は、決して忘れてはいけない、と思うのだ。世界には、平和をキョウジュしている幸運な人もいれば、苦しんでいる人々もいる。だが、私たちは皆、同じ国際列車に乗り合わせているのだ、ということ。

(坂東眞砂子「国際列車で出会った男」による)

問一 傍線部ア～ウを漢字表記に改めた場合、これと同じ漢字を用いるものを、次の各群の①～④からそれぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが 22、イが 23、ウが 24。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ア | イ |
| タイサイ | キエウリョウ |
| ① 景気がタイサイする | ① 森にシュリョウに出かける |
| ② 制服をタイサイする | ② ノウリョウの花火大会に行く |
| ③ タイロを断って前進する | ③ 彼はドクヨウの大きい人物だ |
| ④ 新時代のタイドウを感じる | ④ 研究のリョウウイキを広げる |
| ⑤ 連絡があるまでタイキする | ⑤ 古代のリョウボを見学する |

- | | |
|-----------------|------------|
| ウ | キョウラク |
| キョウウジュ | キョウラク的な生き方 |
| ① 全員がキョウウツウする意見 | |
| ② 情報をテイキョウする | |
| ③ お互いダキョウして歩み寄る | |
| ④ キンキョウを報告する | |

問二 空欄 X に入る表現として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 25。

- ① 笑えばとても魅力的なのではないか
- ② 外国人を見たことがないのではないか
- ③ サービス業としての自覚がないのではないか
- ④ 観光客を憎んでいるのではないか
- ⑤ 本当は働くのが好きなのではないか

問三 傍線部A「私は驚いて、その男を見た」とあるが、「私」はなぜ「驚い」たのか。その理由として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、

解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 26。

- Ⓐ その男が突然話した英語の訛りが思った以上に強かったから。
- Ⓑ 英語が分からないのだらうと思っていた男が突然英語で話したから。
- Ⓒ その男が英語を話しているにもかかわらず東欧系の人間だったから。
- Ⓓ 密出国しようとしている人間のわりには綺麗に髭が剃られていたから。
- Ⓔ 他人に話を聞かれてはいけない立場の人間なのに話しかけてくれたから。

問四 空欄 Y に入る表現として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 27。

- Ⓐ エキゾチック
- Ⓑ エコノミック
- Ⓒ ドラマチック
- Ⓓ ダイナミック
- Ⓔ アカデミック

問五 傍線部B「どんな想いで聞いていたことだろうか」とあるが、どのような「想い」が考えられるか。その説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 28。

- Ⓐ この人たかも国の重圧の下で生きている人間の苦悩を理解してくれるはずだという希望。
- Ⓑ パスポートをもって自由に国境を超えて旅行をすることができる人々たちに対する嫉妬。
- Ⓒ 生きるか死ぬかという現在の状況を脱する計略を立てるヒントを得たいという強い願望。
- Ⓓ 世界の情勢の真実を知ることなく呑気に観光旅行をしている人々たちに対する怒りと嘲り。
- Ⓔ 旅行で世界を知った気になっているだけで真実が見えていない人々たちに対する優越感。

問六 傍線部C「私たちは皆、同じ国際列車に乗り合わせている」とあるが、どういふことを筆者は言おうとしているのか。その説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 29。

- Ⓐ ヨーロッパを走る国際列車は多くの国境を超えるので、さまざまな国の人々が乗り合わせるといふこと。
- Ⓑ 乗った列車が国際列車であれば、紛争のある危険な国を通ることもあり得ると覚悟すべきだといふこと。
- Ⓒ 我々が知り得る世界とは、海外旅行でたまたま出会った人々から得た知識のようなものだといふこと。
- Ⓓ 地球とは国際列車のようなものだから、乗り合わせた我々は嫌でも付き合わなければならないといふこと。
- Ⓔ 様々な国の事情を背負った人々が、地球という共通の場でそれぞれに同時代を生きているといふこと。